

SIM フリースマホ主力 3 機種対決 格安 SIM と共に選ぶべき端末は…

安い通信料金で話題を集めている「格安スマホ」。これは、さまざまな事業者が販売している「格安 SIM」と呼ばれる SIM カードと、それを取り付けて通信できる SIM フリー（どの通信会社の SIM でも付けられる）のスマートフォンがセットになったサービスだ。SIM フリースマホを購入すれば、ユーザーが格安 SIM を自由に選んで入れることもできる。

格安スマホや格安 SIM に必須となる SIM フリースマホだが、今ではスペックの低いものから高機能なものまで、さまざまな機種が発売されている。そのなかでも高速通信の LTE 対応でスペックも高めな、主力 3 機種を比較チェックしてみた。



今回取り上げるのは、ファーウェイの「Ascend P7」と「Ascend G6」、LG エレクトロニクスの「G2 mini」の 3 台。それぞれ特徴のある機種だ

画面解像度は低いが、薄くて軽いファーウェイ「Ascend G6」

ファーウェイの「Ascend G6」は、格安スマホとしてよくセットになっている LTE 対応機種だ。SIM フリースマホとして単独で買うこともできる。家電量販店での実売価格は 3 万 2000 円程度だ。

ディスプレイは 4.5 型で、現在主流の 5 型前後のスマホと比べると 2 回り程度小さい印象。画面解像度は 960×540 ドット。一般的には、フル HD 以上の解像度を持つスマホが主流になってきているが、それと比べて文字や画像の精細感ではやや劣るものの、この解像度でも実用的な問題はない。

画面自体の明るさ、コントラスト、発色、いずれも良好。視野角は必要十分な広さ感じられる。後述する同価格帯の機種「G2 mini」とは違い、画面が奥まって見えないのもよい。

本体サイズは 131.2mm×65.3mm×7.85mm、重さは 115g と薄く軽い。実際に手に持ってみてもかなり軽く感じられる。フラットな板状のデザインで、シャツや上着のポケットへの収まりもいい。

なお、Micro USB ポートは、縦向きに持ったときに上にくる場所にある。ヘッドホン端子の位置は少し変わっていて、左下の側面にある。そのため左手で持つとコードが横に飛び出て持ちづらいが、横向きに持って動画を見るにはコードが邪魔にならない。

4.5 型ディスプレイ搭載のファーウェイ「Ascend G6」

側面には電源ボタンとボリュームボタンがある





フラットな板のようなデザインで、ポケットに入れやすい

【側面の写真】



ヘッドホン端子は左手で持つと少々邪魔になる側面にある

「自分撮りカメラ」が優れている

背面側のカメラは 800 万画素。画質は暗い部分がやや黒くつぶれやすいのが気になったが、まずまずといったところ。ディスプレイ側のカメラは 500 万画素で、インカメラとしては画素数が多い。10 段階の調整が可能な、ちょっと美人に写してくれるというビューティーモードなど自分撮りに向いた機能を備えている。

OS は Android4.3。プロセッサはクアッドコアの Qualcomm MSM8926 (1.2GHz)、RAM は 1GB で、後述する LG G2 mini とほぼ同等の処理性能といえる。性能はそこそこといったところで Android の動作でそれほど不満を感じることはなかったが、処理の重いアプリやゲームを使いたい人は注意が必要だ。

内蔵ストレージは 8GB だが、最大 32GB までの microSD カードを入れることで容量不足はカバーできる。SIM カードや microSD カードのスロットは、背面のカバーを外すとアクセスできる。このほか無線 LAN (IEEE802.11b/g/n)、Bluetooth 4.0、GPS、NFC に対応する。バッテリー容量は 2000mAh だ。

まとめると、ファーウェイ「Ascend G6」は薄く軽くコンパクトなこと、自分撮りに向いたカメラ機能が特徴だ。また「DTS モード」を有効にして音楽再生してみると低音の効きがよくクッキリとした音になるなど、音楽プレーヤーとしても使いやすい機種だ。



背面のカメラは 800 万画素。ディスプレイ側のカメラは 500 万画素で、自分撮り向けのビューティーモードなどを備える





Ascend G6 のホーム画面。OS は Android 4.3



通信カードは microSIM で、背面カバーを外すとアクセスできる。カバーを上げてカードを置き、カバーをしめてスライドさせる。横に見えるのは microSD カードスロット



音質もなかなかで、音楽プレーヤーとしても十分利用できる

5 型フル HD 対応の大画面が特徴の「Ascend P7」

ファーウェイの SIM フリースマホの中でも最新機種が、この「Ascend P7」。家電量販店での実売価格は 5 万円前後となる。

特徴はまず 5 型のフル HD 対応ディスプレイを搭載すること。SIM フリーで販売されているスマホのなかでも特に大画面。コントラストや発色など画質は良好といったところ。ただ視野角は、前述した下位モデル Ascend G6 と比べるとやや狭く感じた。

画面解像度は 1920×1080ドットのフル HD 対応で、これも SIM フリースマホのなかでは高スペック。PC 向けの Web サイトを表示しても細かい部分まで読み取れる。タッチ操作のレスポンスも良好だ。屋外ではもう少し画面の明るさが欲しいと感じたが、ディスプレイはおおむね良好だろう。

手に持って驚くのは、こちらも薄くて軽いこと。ボディーはフラットな板状で、重さは 124g。サイズは 139.8mm×68.8mm×6.5mm で、特に厚みは 6.5mm で LTE 対応端末としては世界最薄クラスになる。幅があるので手が小さい人は片手で持ちにくいかもしれないが、薄型軽量なのはメリットだ。



ファーウェイの「Ascend P7」。5型のフルHD対応ディスプレイを備える。ボディー背面は波紋のような模様になっていて、その上をガラス素材でカバーしており、質感は高い



板状のデザインで、側面には丸い電源ボタンやボリュームボタンがある



microSIMカードとmicroSDカードは側面のスロットに取り付ける。穴が開いていて、ここに付属のピンを挿し込むとカードを入れるフレームが出てくるので、それにカードを載せて挿し込む

動作はさらに軽快、ハイスpek派におすすめ

ディスプレイ側のカメラは800万画素で、Ascend G6よりさらに画素数が多くなっている。ビューティーモードなどの機能も搭載しており、自分撮り向きになっている。音楽再生機能もAscend G6と同様の、音がクッキリを強調され臨場感が増す「DTSモード」に対応しており、音楽プレーヤーとしても十分使えそうだ。

OSはAndroid4.4で、プロセッサはHisilicon Krin910T(1.8GHz)を搭載する。RAMは2GBで、ユーザーメモリは16GB。さらにmicroSDカードも利用できる。このように処理性能はAscend G6より高くなっており、OSや付属アプリの動作も軽快に感じられる。このほか無線LAN(IEEE802.11b/g/n)、Bluetooth 4.0、GPS、NFCに対応する。

このようにAscend P7は、5型のフルHD液晶、1.8GHzのプロセッサや2GBのRAMなど、SIMフリーで購入できるスマートフォンとしてはハイスpekなのが魅力だ。格安SIMでSIMフリースマホを運用したいけどスpekの高い機種がなかなかなくて……、という人にはピッタリの製品だろう。質感の高いデザインも悪くない。



背面側のカメラは 1300 万画素。
画質は Ascend G6 に比べて暗い部分がつぶれるような
こともなく良好だ

【側面の写真】



端子類の配置は、ヘッドホン出力は縦に持ったときに上
にくる位置で、Micro USB はその反対の下側にある。
オーソドックスな配置だ



ホーム画面。スペックが高いこともあり、動作は軽快に感じられる

ホーム画面はシンプルで分かりやすいものに変更することもできる→



←Ascend P7、G6 のどちらにもある「端末マネージャー」。ボタンを押すだけで
無駄に起動しているアプリなどを検出し、ワンタッチで最適化してレスポンスの
低下を防止できる

片手持ちでも使いやすい操作性が光る、LG「G2 mini」

LG エレクトロニクスの「G2 mini LG-D620J」は、Ascend G6と並んで店頭で見かける機会の多い、SIMフリーのスマートフォンだ。アマゾンでの販売価格は3万6800円程度だ。

同機種のディスプレイサイズは4.7型でIPSパネルを採用している。明るさは必要十分。コントラスト、発色のバランスは良好。視野角も実用上問題ない。タッチ操作のレスポンスも快適だ。

画面の解像度は前述の「Ascend G6」と同じ960×540ドットだが、Ascend G6に比べると画面がやや奥まって見えるのが少し気になった。



LG エレクトロニクスの「G2 mini LG-D620J」。本体色は白と黒の2色ある

ボディは丸みを帯びたデザインだ。サイズは129.6mm×66mm×9.8mmで、ベゼル部分が狭いので4.7型ディスプレイ搭載としては幅が狭い。

厚さは1cm近くあるが、背面に丸みがあるので実際に持ってみると手によくなじんで持ちやすく、厚みも気にならない。そして、背面に操作ボタンがあるのが特徴で、手に持ったときにちょうど人さし指で操作しやすい位置にボタンがくる。このため片手持ちでもしっかりホールドした状態で操作しやすい。手の小さい人にも扱いやすいだろう。

もうひとつ面白いのが、画面をたたくノックオンやノックコード機能だ。ノックオンは画面を軽く2回たたくことで画面をオン・オフできる機能のこと。ノックコードはあらかじめ設定した順に画面を軽くたたくことでセキュリティロックを解除する機能で、PINコード入力より簡単で、パターン入力のように画面に跡を残さずロックを解除できる。こうした操作性の良さがG2 miniの魅力になっている。



背面は丸みを帯びていて、手になじみやすい。電源ボタンとボリュームボタンが側面ではなく背面についているのが特徴



SIMカードや microSD カードは、背面のカバーを外して取り付ける。
 バッテリーは容量 2370mAh で取り外し可能



カメラは背面側に約 800 万画素、ディスプレイ側に約 130 万画素のものを搭載する。背面側のカメラは暗い部分がやや黒くつぶれるのが気になるが、まずまずの画質だ

プロセッサは Qualcomm Snapdragon 400 (1.2GHz)。RAM は 1GB で、ユーザーメモリは 8GB。そのほか最大 32GB までの microSD カードを利用できる。処理性能は Ascend G6 とほぼ同等だが、こちらは OS が Android 4.4 になっているのがメリットだ。このほか無線 LAN (IEEE802.11b/g/n)、Bluetooth 4.0、GPS、NFC に対応する。

G2 mini は、ラウンドフォルムで手になじむので持ちやすく、また背面にある操作ボタンのおかげで、片手持ちで操作しやすいのが特徴だ。大きめの画面がほしいがボディが大きくて持ちにくいのはちょっと困る、という人にはピッタリだろう。



ホーム画面は、Android 標準のホーム画面に近い印象だ



ガラケーのように、ダイヤルボタンやメニューボタンを並べた「easy ホーム」画面に切り替えることもできる



拡張端子は、縦方向に持ったときに、上側にヘッドホン端子、下側に Micro USB がくる。操作ボタンは背面なので側面にはない

SIM フリースマホ、どれが買いなのか？

「Ascend G6」と「G2 mini」はどちらもミドルレンジのモデルで、性能スペックは似ている。

薄く軽いことや自分撮りに向けたカメラ機能、音楽プレーヤーとして使うことを重視するなら「Ascend G6」が向いている。片手持ちでの使いやすさ、ロックオンや easy ホームの使いやすさなど、操作性を重視するなら「G2 mini」が向いている。画面の大きさも 4.7 型の「G2 mini」ほうがやや大きい(Ascend G6 は 4.5 型)。

一方、「Ascend P7」は 5 型フル HD 液晶搭載などが魅力のハイエンドモデルで、価格は 5 万円前後など、上 2 つの機種が 3 万円台なのに比べて高くなる。しかし、大画面やスペックの高さに魅力を感じるならこちらがおすすめだ。

なお、筆者が自分で使うのなら「Ascend P7」を選びたい。スペックが高く動作が軽快でストレスをあまり感じなかったこと。OS が最新の Android 4.4 なので、今後のアプリや周辺機器の対応など長く使えそうな点も気に入った。

画面が 5 型と大きいのもポイントだ。最近老眼気味になってきたので、画面はなるべく大きく見やすい方が助かる。画質も悪くない。そして現在、スマートフォンを音楽再生やカメラとしてもよく使っているの、音楽再生機能やカメラ機能がこの 3 機種の中で一番良好に感じたのも選んだ理由だ。

一方、コストパフォーマンスを重視した上で、スマホに詳しくない家族に持たせるなら「G2 mini」を選びたい。これは持ちやすく操作しやすいと感じたのがポイントだ。スペックはそこそこだが、機能はひと通りそろっていて、スマホの面白さを十分味わえる。

以上3機種を見てみたが、大手キャリアが販売するような端末、例えば iPhone 6 や Xperia などと比べると端末価格は数万円も安い。スマホは初めてという人も、格安 SIM を使って通信料金を抑えたいという人も、こうした端末を検討してみる価値は十分あるだろう。

■SIM フリースマホのスペック比較表

	Ascend G6	Ascend P7	G2 mini
OS	Android 4.3	Android 4.4	Android 4.4
ディスプレイ(解像度)	4.5型(960×540ドット)	5型(1080×1920ドット)	4.7型(960×540ドット)
CPU	Qualcomm MSM8926(1.2GHz)	Hisilicon Krin 910T(1.8GHz)	Qualcomm Snapdragon 400(1.2GHz)
RAM	1GB	2GB	1GB
内蔵メモリー	8GB	16GB	8GB
外部メモリー	microSD(最大32GB)	microSD(最大32GB)	microSD(最大32GB)
サイズ(高さ×幅×厚さ)	131.2mm×65.3mm×7.85mm	139.8mm×68.8mm×6.5mm	129.6mm×66.0mm×9.8mm
質量	約115g	約124g	約120g
バッテリー	2000mAh	2500mAh	2370mAh
カメラ画素数	背面側800万画素・前面側500万画素	背面側1300万画素・前面側800万画素	背面側800万画素・前面側130万画素
SIMサイズ	microSIM	microSIM	microSIM